



2023年10月13日

各 位

会 社 名 R P A ホールディングス株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 高 橋 知 道
(コード番号：6572 東証プライム)
問 合 せ 先 取 締 役 松 井 哲 史
(TEL 03-5157-6388)

2024年2月期第2四半期連結業績予想と実績の差異及び営業外費用の計上に関するお知らせ

2023年4月14日付で公表しました2024年2月期第2四半期（累計）の連結業績予想と本日公表の実績の間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2024年2月期第2四半期（累計）の連結業績予想と実績の差異（2023年3月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,000	百万円 100	百万円 66	百万円 30	円 銭 0.50
実 績（B）	2,913	190	49	304	5.02
増 減 額（B－A）	△86	90	△16	274	-
増 減 率（％）	△2.9	90.3	△25.1	914.5	-
（ 参 考 ） 前 期 実 績 （2023年2月期 第2四半期）	2,899	43	△8	△93	△1.54

2. 差異の理由

売上高につきましては、計画値に対して若干の未達となりました。利益面におきましては、各事業ともに堅調に推移したこと、販売管理費予算の一部未消化により、営業利益は従来予想を上回る結果となりました。

一方で、持分法投資損失90百万円を計上したことで経常利益は従来予想下回る結果となりました。また、事業譲渡益76百万円、投資有価証券売却益200百万円及び関係会社売却益34百万円を計上したことで親会社株主に帰属する四半期純利益は従来予想を上回る結果となりました。

3. 営業外費用の計上及びその内容

(1) 投資事業組合運用損

投資事業組合への出資について、受領した決算報告に基づき投資事業組合運用損 38 百万円を営業外費用として計上することになりました。

(2) 持分法による投資損失

当社の持分法適用会社である A PLUS JAPAN 株式会社の決算報告に基づき持分法による投資損失 90 百万円を営業外費用として計上することになりました。

以 上